

平成23年度東京芸術大学大学院 美術研究科（博士後期課程） 学生募集要項の訂正について

訂正内容（2点）

P 11 「選抜試験内容及び試験日程」のうち、
油画研究領域の

1月7日(金) - (1)作品提出の記載内容を下記のとおり訂正

誤：227cm × 182cm，奥行277cm以内とし、2年以内に制作したものに限り

正：227cm × 182cm，奥行227cm以内とし、2年以内に制作したものに限り
PDFデータについては修正済み

出願用封筒

出願期間の記載内容を下記のとおり訂正

誤：平成22年12月3日（金）～12月8日（水）

正：平成22年12月2日（木）～12月7日（火）

PDFデータには封筒はついていません

東京芸術大学
美術学部教務係

平成23年度
東京芸術大学大学院
美術研究科（博士後期課程）
学生募集要項

本要項には、本学所定の出願書類及び出願用封筒が添付してある。

平成22年7月
東京芸術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
美術学部教務係 TEL 050(5525)2122

目 次

1. 美術研究科アドミッションポリシー	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	1
4. 標準修業年限	2
5. 研究分野及び研究室（指導教員）一覧	2
6. 出願手続	5
7. 受験票，障害のある入学志願者の事前相談について	8
8. 作品，論文，ポートフォリオ等の提出及び引き取りについて	9
9. 選抜試験内容及び試験日程等	11
TOEFL，TOEICの受験について（先端芸術表現 研究領域のみ）	16
10. 選抜試験場	17
11. 最終合格者発表	17
12. 入学手続	17
13. 入試情報の開示について	18
14. 平成24年度東京芸術大学大学院美術研究科入学者選抜における個別学力検査等の変更について（予告）	19
15. 個人情報の取り扱いについて	20
※ 本学キャンパス（上野・取手）案内図	21
※ 提出作品・論文・ポートフォリオ等 添付・申告用紙	
※ 平成23年度東京芸術大学大学院入試個人成績開示願（申請用紙）	
※ 検定料振込依頼書（振込用紙）	

1 美術研究科アドミッションポリシー

美術研究科では、これまで美術の各分野において、時代を代表する作家、研究者、教育者を輩出してきました。

本研究科は、こうした伝統のなかで培われた創造性を身につけ、新たな時代に対応し、優れたオリジナリティを発揮し、指導的な立場に立つ人材の育成を目的としています。本研究科で学ぶ学生には、歴史のなかで蓄積された技芸と知識を修得し、さらにその成果を革新し、発展させ、広く世界の文化と社会のために貢献する能力が望まれます。

こうした理念を踏まえ、自立した姿勢で研鑽を積み、国際的な見地から美術の世界に、豊かな収穫をもたらす学生を広く求めています。

2 募集人員

研究科	専攻	研究領域	募集人員
美術研究科	美術専攻	日本画 油画 彫刻 工芸 デザイン 建築 先端芸術表現学	25人
	文化財保存学専攻	文化財保存学 保存修復学	10人

(注) 1. 出願は、一つの研究領域に限る。

3 出願資格

本研究科（博士後期課程）に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者（本研究科入学前までに学位取得見込みの者を含む。）
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（本研究科入学前までに授与される見込みの者を含む。）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（本研究科入学前までに授与される見込みの者を含む。）
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（本研究科入学前までに授与される見込みの者を含む。）
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

(注) 出願資格6により出願を希望する者には、個別に出願資格の審査を行うので、希望者は事前に本学美術学部教務係へ申し出て、申請書類を受け取り、定められた期限（平成22年10月18日）までに、本研究科の指定した書類等を提出すること。

審査が終了するまで出願書類等の受理を保留し、審査の結果は、本人宛に通知する。

出願資格を有すると認定された者は、本研究科が指定した期日までに検定料を納入すること。

4 標準修業年限 3年

5 研究領域及び研究室（指導教員）一覧

下記一覧表の中から志望する研究室（指導教員）名を願書の所定欄に記入すること。

なお、平成23年3月末～平成25年3月末までに定年退職予定の教員研究室については、学生募集を行わない場合もあるので、注意すること。

また、今後（平成22年7月以降に）就任される教員の研究室・指導教員情報については、東京芸大ホームページにおいて適宜公開する予定です。

（注）指導教員欄の空欄は、平成23年3月末に定年退職予定の教員、平成22年7月現在未就任の教員、または講師研究室等を示す。

○印は平成24年3月末に定年退職予定の教員を示す。

△印は平成25年3月末に定年退職予定の教員を示す。

（兼）は、本学美術研究科の他研究室の教員が兼担していることを示す。

★印は、平成23年度募集を行わないことを示す。

研 究 領 域	研 究 室	指 導 教 員
日 本 画	日 本 画 第1研究室	齋 藤 典 彦 准教授
		植 田 一 穂 准教授
	〃 第2研究室	関 出 教 授
		梅 原 幸 雄 教 授
	〃 第3研究室（古典研究を含む）	手 塚 雄 二 教 授
		吉 村 誠 司 准教授
油 画	油 画 第1研究室	
	〃 第2研究室	小 山 穂太郎 教 授
	〃 第3研究室	坂 口 寛 敏 教 授
	〃 第5研究室	保 科 豊 巳 教 授
	〃 第6研究室	坂 田 哲 也 教 授
	〃 第7研究室	O J U N 准教授
	版 画 第1研究室（銅版、リトグラフ）	東 谷 武 美 教 授
	〃 第2研究室（木版、スクリーンプリント）	三井田 盛一郎 准教授
	壁 画 第1研究室	中 村 政 人 准教授
	〃 第2研究室	工 藤 晴 也 教 授
	油画技法・材料 第1研究室	佐 藤 一 郎 教 授
	〃 第2研究室	大 西 博 准教授

研究領域	研究室	指導教員
彫刻	彫刻 第1研究室	木戸 修 教授
	〃 第2研究室	林 武史 准教授
	〃 第4研究室	深井 隆 教授
	〃 第5研究室	原 真一 准教授
	〃 第6研究室	北郷 悟 教授
	〃 第7研究室	森 淳一 准教授
工芸	彫金 第1研究室 (ジュエリー)	飯野 一朗 教授
	〃 第2研究室	前田 宏智 准教授
	鍛金 第1研究室	篠原 行雄 教授
	〃 第2研究室	丸山 智巳 准教授
	鑄金 第1研究室	橋本 明夫 教授
	〃 第2研究室	赤沼 潔 准教授
	漆芸 第1研究室 (現代・造形)	三田村 有純 教授
	〃 第2研究室 (伝統・造形)	小椋 範彦 准教授
	陶芸 第1研究室	島田 文雄 教授
	〃 第2研究室	豊福 誠 教授
	染織 第1研究室	△山下 了是 教授
	〃 第2研究室	菅野 健一 教授
	木工芸 第1研究室	(兼)三田村 有純 教授
ガラス造形 第1研究室	(兼)島田 文雄 教授	
デザイン	視覚・演出 研究室	河北 秀也 教授
	視覚・伝達 研究室	松下 計 准教授
	空間・演出 研究室	△池田 政治 教授
	空間・設計 研究室	橋本 和幸 准教授
	機能・演出 研究室	尾登 誠一 教授
	機能・設計 研究室	長濱 雅彦 准教授
	環境・設計 研究室	清水 泰博 教授
	映像・画像 研究室	箕浦 昇一 教授
	描画・装飾 研究室	△中島 千波 教授
	企画・理論 研究室	藤崎 圭一郎 准教授

研 究 領 域	研 究 室	指 導 教 員
建 築	建築設計 第1研究室	★
	建築設計 第2研究室	元 倉 眞 琴 教 授
	建築設計 第3研究室	トム・ヘネガン 教 授
	環境設計 第1研究室	北 川 原 温 教 授
	環境設計 第2研究室	ヨコミゾマコト 准教授
	構造計画 第1研究室	金 田 充 弘 准教授
	建築理論 第1研究室	光 井 涉 准教授
	建築理論 第2研究室	野 口 昌 夫 教 授
先 端 芸 術 表 現	地域と芸術	たほ りつこ 教 授
		鈴 木 理 策 准教授
	言語と身体	木 幡 和 枝 教 授
		日比野 克彦 教 授
		長 谷 部 浩 教 授
	科学技術と表現	伊 藤 俊 治 教 授
		古 川 聖 准教授
	素材と創造性	○高 山 登 教 授
		佐 藤 時 啓 教 授
		小 谷 元 彦 准教授
	芸 術 学	美 学 第1研究室
〃 第2研究室		★井 村 彰 准教授
日本・東洋美術史 第1研究室		片 山 ま び 准教授
〃 第2研究室		○田 口 榮 一 教 授
〃 第3研究室		佐 藤 道 信 教 授
〃 第4研究室		松 田 誠 一 郎 准教授
西洋美術史 第1研究室		田 辺 幹 之 助 准教授
〃 第2研究室		
〃 第3研究室		越 川 倫 明 教 授
工 芸 史 研 究 室		(兼)片 山 ま び 准教授
美術教育 第1研究室		小 松 佳 代 子 准教授
〃 第2研究室		本 郷 寛 教 授
〃 第3研究室		木 津 文 哉 教 授
美術解剖学 研究室		布 施 英 利 准教授

研究領域	研 究 室	指 導 教 員	
文化財 保存学	保 存 修 復	日 本 画 第1研究室	宮 廻 正 明 教 授
		〃 第2研究室	荒 井 経 准 教 授
		油 画 研 究 室	木 島 隆 康 教 授
			(兼)佐 藤 一 郎 教 授
		彫 刻 研 究 室	藪 内 佐 斗 司 教 授
			(兼)深 井 隆 教 授
		工 芸 研 究 室 (但し、工芸研究室の専攻は研究分野に応じ て工芸科教員が兼担する。)	辻 賢 三 准 教 授
	(兼)島 田 文 雄 教 授		
	(兼)篠 原 行 雄 教 授		
	(兼)菅 野 健 一 教 授		
	建 造 物 研 究 室	上 野 勝 久 教 授	
		(兼)光 井 涉 准 教 授	
	保 存 科 学	文化財測定学 研 究 室	稲 葉 政 満 教 授
美術工芸材料学 第1研究室		永 田 和 宏 教 授	
〃 第2研究室		桐 野 文 良 教 授	

6 出願手続

1) 願書提出期間 (消印有効期間)

平成22年12月2日 (木) ~ 7日 (火)

郵送による出願とし、郵便局の消印が上記期間内のもの限り受け付ける。

(注) 郵便局の消印が期間前・期間後のもの、また、大学に直接持参したものは一切受け付けない。

2) 願書提出方法

この要項に添付してある本学所定の書類に検定料振込金受付証明書（C票）を添えて、願書提出期間内に書留速達郵便で送ること。

(1) 検定料：30,000円

（平成23年3月本学大学院（修士課程）修了見込の者及び国費外国人留学生は納入不要。ただし、「国費外国人留学生証明書」を必ず提出すること。）

この要項に添付してある検定料振込依頼書を使用し、下記の事項に従い、平成22年11月26日（金）から12月7日（火）までに振り込むこと。

○取扱い金融機関は次のとおりです。

都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合

（ゆうちょ銀行では払い込むことはできません。）

○振り込む際に手数料が必要です。

（三井住友銀行・本支店から振り込む場合は、手数料は無料。）

○ATMによる振込は不可。金融機関窓口で納入すること。

(2) 提出書類

㊦ 「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」

A票		B票		C票																													
振込依頼書 <small>（「東京芸術大学」入学試験検定料）</small>		振込金受取書 <small>（「東京芸術大学」入学試験検定料）</small>		「東京芸術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書																													
<table border="1"> <tr> <td>ご依頼日</td> <td>志望研究領域</td> <td rowspan="2">金額</td> <td rowspan="2">¥30,000</td> </tr> <tr> <td>平成 年 月 日</td> <td>電信扱</td> </tr> <tr> <td>三井住友銀行 東京公務部</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>151793</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <small>トウキョウゲイジユツタイガク 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口</small> </td> </tr> <tr> <td>整理番号</td> <td>志願者氏名</td> <td colspan="2" rowspan="2">収納印</td> </tr> <tr> <td colspan="2">住所・電話番号</td> </tr> </table>		ご依頼日	志望研究領域	金額	¥30,000	平成 年 月 日	電信扱	三井住友銀行 東京公務部				普通	151793			<small>トウキョウゲイジユツタイガク 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口</small>				整理番号	志願者氏名	収納印		住所・電話番号		<table border="1"> <tr> <td>志望</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>¥30,000</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td></td> </tr> </table>		志望		金額	¥30,000	氏名	
ご依頼日	志望研究領域	金額	¥30,000																														
平成 年 月 日	電信扱																																
三井住友銀行 東京公務部																																	
普通	151793																																
<small>トウキョウゲイジユツタイガク 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口</small>																																	
整理番号	志願者氏名	収納印																															
住所・電話番号																																	
志望																																	
金額	¥30,000																																
氏名																																	
(取扱金融機関保管)		(志願者保管)		(大学提出用)																													

㊦

入学試験検定料振込金
受付証明書提出用紙

C票

入学試験検定料
振込金受付証明書

この用紙にC票を
貼り付ける

振込をした際、返却されたB・C票のうち、C票について切り離し、志望研究領域・氏名を記入のうえ、㊦の「検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付する。

④「入学願書、写真票、受験票」

入学願書	所定の事項を記入すること。 裏面の志望研究調書の欄も忘れずに記入すること。 なお、氏名は戸籍と同一文字とする。
写真票	写真は、明らかに出願者本人であることが認められるものとする。 脱帽・上半身・正面向・出願前3か月以内撮影〈カラー4×3cm〉 写真裏面に「出願研究領域と氏名」を記入すること。
受験票	受験票の裏面は、「郵便はがき」となっているので、 320円分の切手を貼り、住所氏名を記入すること。

(注) 各書類とも、切り離さず提出すること。

㉔「成績証明書」……(本大学院修了者・在学生及び本学国費外国人留学生は不要)

㉕「大学院修士課程修了(又は修了見込)証明書」……(本大学院修了者・在学生及び本学国費外国人留学生は不要)

㉖(先端芸術表現研究領域受験者のみ提出)「TOEFLの成績証明書もしくはTOEICの公式認定書」(p.13, p.16参照)

(注) 1. 日本に在住している留学生は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書(在留資格、在留期間明記のもの)」を提出すること。(本学在学生及び本学国費外国人留学生は不要)

2. 日本政府国費留学生は、1.に加えて、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生証明書(在籍身分、留学期間明記のもの)」を提出すること。

3. 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本等)を添付すること。

4. 成績証明書について、4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校について提出すること。

5. 外国語で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。

6. その他、必要に応じて証明書等の提出を求める場合がある。

(3) 願書送付先 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京芸術大学美術学部

この要項に添付されている本学所定の出願用封筒に、上記書類(㉔㉕㉖㉗㉘)を入れ、出願期間(消印有効期間)内に「書留速達」で郵送すること。

(注) 願書受理後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めない。また、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料の返還はしない。

①検定料の返還請求が出来る場合

ア. 検定料を払い込んだが東京芸術大学に出願しなかった(願書を提出しなかった又は願書が受理されなかった)場合

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

(注) 振込金額は振込手数料を差し引いた金額になります。

②返還請求の方法

便せん等を使って、次の①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、
C票「検定料払込金受付証明書」を添付して東京芸術大学会計課経理係
(〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8)へ、郵送してください。

検定料返還請求願

- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④受験予定の専攻・研究領域
⑤金額 ⑥返還請求の理由
⑦振込先の銀行名、支店名、普通か当座か、口座名義(カタカナ)、口座番号

(注) 志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合には、
必ず、その旨を書いた委任状を返還請求書等と一緒に送付して下さい。

7 受 験 票

提出書類を完備し、上記の出願手続を行った者には、大学から受験票を送付する。
受験票が1月5日(水)までに到着しない場合は、ただちに美術学部教務係へ連絡すること。
※ 美術学部教務係 電話 050(5525)2122

障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、美術学部教務係に事前
相談すること。

様式任意の書面に志望専攻・研究領域、障害の種類・程度、受験上の特別な措置及び修学上
の特別な配慮を必要とする事項等を、平成22年11月10日(水)までに提出すること。

なお、出願締切以後の不慮の事故による負傷等においても、速やかに美術学部教務係に相談
すること。

(注) 事前相談には、相当の日数を必要とする場合があるので、早めに相談すること。

8 作品, 論文, ポートフォリオ等の提出及び引き取りについて

作品, 論文, ポートフォリオ等の提出は, 全研究領域に課せられている。

その提出及び引き取り方法については, 下記の要項によること。

1. 提出する作品, 論文, ポートフォリオ等の内容, 規格等は, 11頁以降の「選抜試験内容及び試験日程等」によること。
2. 油画・彫刻・工芸および先端芸術表現研究領域においては, ポートフォリオの提出が課せられている。ポートフォリオとは, 志願者のこれまでの活動内容を分かりやすくまとめたファイルのことである。
3. 提出にあたっては, 所定の「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」**添付用**を各作品等に貼り, 併せて「提出作品・論文等用紙」**申告用**を窓口に提出すること。ただし, 先端芸術表現研究領域は, 全ての「提出作品・論文等用紙」**申告用**を1ヶ所としてポートフォリオに添えて郵送すること。(日本画研究領域は, 「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」**添付用**のみとする。)
4. 作品, 論文・ポートフォリオ等の提出及び引き取りは, 下記に指定した日時に, 必ず本人が行うこと。指定された日時以外は, これを認めない。また, 運送業者を利用する場合は, 下記の各研究領域指定時間内に到着するよう手配し, 必ず本人が立ち会うこと。(特別な措置を必要とする場合(大型クレーンを使用する等)は, 必ず事前に各研究室と相談すること。また, 指定日時に引き取りのない作品等については, 大学で処分するので, 十分注意すること。)
5. 安全管理及び保健衛生上, 支障のある作品等は受理しない。

研究領域	提出 (日時・場所)	返却 (日時・場所)
日本画	2月11日(金祝) 13時～15時 日本画研究室	2月13日(日) 口述試問終了後 ※詳細は日本画研究室から指示する
油画	1月7日(金) 13時～16時 油画研究室	2月14日(月) 13時～16時 油画研究室
彫刻	1月25日(火) 10時～12時 彫刻研究室(小論文)(提出作品デッサン)	2月12日(土) 口述試問終了後 から16時まで ※詳細は彫刻研究室から指示する
	2月11日(金祝) 10時～15時 彫刻研究室(作品)(ポートフォリオ)	
工芸	1月14日(金) 10時～16時 美術学部教務係(小論文)	2月15日(火) 口述試問終了後
	2月14日(月) 10時～16時 語学能力審査終了後に指示する(作品及びポートフォリオ)	
デザイン	1月12日(水) 10時～16時 美術学部教務係(小論文)	2月13日(日) 口述試問終了後 デザイン合同研究室
	2月13日(日) 10時～12時 デザイン合同研究室(作品)	

研究領域	提出（日時・場所）	返却（日時・場所）
建築	1月19日(水) 10時～16時 美術学部教務係	2月15日(火) 口述試問終了後 建築研究室
先端芸術表現	1月11日(火)～1月18日(火)迄 に書留にて郵送必着 〒302-0001取手市小文間5000 東京芸術大学取手校地 先端芸術表現科合同教員室	●合格者の方には、入学後に返却します。 ●不合格者の方には、以下の要領で返却します。期間中に受け取りのなかったものについては、当方で処分させていただきます。 返却期間：4月11日(月)～4月22日(金) 平日 10時00分～16時30分 場 所：取手校地メディア教育棟204 先端芸術表現科合同教員室 ※受験票をご持参ください。 ※代理人の場合、受験票をお預けください。
芸術学	美学・美術史 1月4日(火)～7日(金)必着 「修士論文在中」と封筒に朱書の上、書留で郵送すること。持ち込みは不可 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京芸術大学美術学部芸術学科事務室	試験終了時に志望する各分野の研究室から指示する
	美術教育 1月14日(金) 10時～15時(論文) 2月14日(月) 11時～15時(作品) ※当日、美術教育研究室から指示する	2月16日(水) 受験生全員の口述試問終了後 ※詳細は美術教育研究室から指示する
	美術解剖学 1月24日(月) 10時～16時 美術解剖学研究室(論文等)	試験終了時に美術解剖学研究室から指示する
文化財保存学	保存修復 2月14日(月) 13時～14時 保存科学 2月3日(木) 郵送にて必着 当日、文化財保存学各分野の研究室から指示する	口述試問終了後 保存修復 2月15日(火) 保存科学 2月10日(木) 志望する各分野の研究室

9 選抜試験内容及び試験日程等

ア. 選抜方法

入学者の選抜は、本大学院の実施する学力検査(筆答試験, 実技試験, 口述試験等), 面接及び受験者から提出された書類, 作品, 論文等を総合して判定する。

課せられた試験(作品等提出を含む)を一つでも受験しなかった者は失格(不合格)となる。
(試験日時を間違えた場合も同様)

イ. 試験日程等

(注) 日本画研究分野では入試及び各研究室の内容についてのオリエンテーションを実施します。志願者は、願書提出前に日本画研究室へ日時を確認して下さい。

日本画研究室 TEL050-5525-2135

研究領域	日 時	選抜試験内容及び方法
日本画	2月10日(木) 10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉	(1) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。
	2月11日(金祝) 13:00~15:00 〔提出先: 日本画研究室〕	(2) 作品提出……絵画作品150号1点, 50号前後5点~10点。(2年以内に制作したものに限り。) 実技試験を課すこともある。 (3) 小論文提出……4,000字以内 (研究領域における考え方。提出作品の制 作意図・過程など。原本1部, コピー7部を提出すること。)
	2月13日(日) 13:00~ 〈12:30集合/絵画棟玄関前〉	(4) 口述試問
油 画	1月7日(金) 13:00~16:00 〔提出先: 油画研究室〕	(1) 作品提出……作品5点~10点。(227cm×182cm, 奥行227cm以内とし, 2年以内に制作したものに限り。) (2) 小論文提出……4,000字以内 (A4定型) (研究領域における考え方。提出作品の制 作意図・過程など。 ※(2)は提出作品写真を3頁以内にまとめたものを添付し, 原本1部, コピー15部を提出すること。 (3) ポートフォリオ1冊 (サイズはA4~A3まで。履歴と活動歴を最初に入れること。)
	2月10日(木) 10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉	(4) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。
	2月13日(日) 10:30~ 〈10:00集合/絵画棟玄関前〉	(5) 口述試問
彫 刻	1月25日(火) 10:00~12:00 〔提出先: 彫刻研究室〕	(1) 小論文提出……4,000字以内 (研究領域における考え方。提出作品の制 作意図・過程など。原本1部, コピー8部を提出する。 (2) 提出作品デッサン (簡単なデッサン, 各1点ずつ, A4用紙)
	2月10日(木) 10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉	(3) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。
	2月11日(金祝) 10:00~15:00 〔提出先: 当日彫刻研究室から指示する〕	(4) 作品提出……彫刻作品3点 (2年以内に制作したものに限り。) 実技試験を課すこともある。なお, 搬出方法は別添用紙に記載のうえ提出すること。 (5) ポートフォリオ提出……ポートフォリオの大きさはA4版とする。1冊のみ提出すること。
	2月12日(土) 10:00~ 〈9:40集合/彫刻棟玄関前〉	(6) 口述試問

研究領域	日	時	選抜試験内容及び方法
工 芸	1月14日(金)	10:00~16:00 〔提出先：美術学部教務係〕	(1) 小論文提出……4,000字以内 (研究領域における考え方。提出作品の制作意図・過程など。原本1部, コピー16部を提出。志望専攻と受験番号のみ明記すること。)
	2月10日(木)	10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉	(2) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。
	2月14日(月)	10:00~ 〈9:50集合/総合工房棟前〉 〔提出先：語学能力審査終了後に指示する〕	(3) 作品提出……志望分野の作品を5点~10点。(提出作品は室内展示とする) ※実技試験を課すこともある。 (4) ポートフォリオ提出……これまでの作品及び制作活動をまとめたファイル。サイズはA4とする。
	2月15日(火)	13:00~ 〈12:50集合/総合工房棟前〉	(5) 口述試問
デザイン	1月12日(水)	10:00~16:00 〔提出先：美術学部教務係〕	(1) 小論文提出……4,000字程度 (研究領域における考え方。提出作品の制作意図・過程など。)
	2月10日(木)	10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉	(2) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。
	2月13日(日)	10:00~12:00 〈9:30集合/総合工房棟3F受付〉 〔提出先：デザイン研究室〕	(3) 作品提出……作品3点~5点。(2年以内に制作したものに限り) ※作品展示に必要な機材等は各自用意すること。 ※実技試験を課すこともある。
建 築	1月19日(水)	10:00~16:00 〔提出先：美術学部教務係〕	(1) 作品提出……提出作品又は博士課程において研究しようとする研究テーマに関連する作品2点~3点。(2年以内に制作した設計図面とし, その様式は任意。模型及び共同制作の作品は受け付けない。) ※実技試験を課すこともある。 (2) 小論文提出……8,000字程度 (博士課程において研究しようとする研究)テーマに関連する小論文 (注) 上記の作品・小論文提出については, 本学大学院修士課程修了者の場合, 修士論文等をもってかえることができる。
	2月10日(木)	10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉	(3) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。
	2月15日(火)	13:30~ 〈13:00集合/中央棟玄関前〉	(4) 口述試問

(注) 先端芸術表現領域の志願者は、願書提出前に、研究領域の内容について、研究室から説明を受けること。説明を受けるに当たっては、事前に希望する指導教員を明記のうえメールで申し込みをすること。

doctor-exam-2011@ima.fa.geidai.ac.jp

研究領域	日 時	選抜試験内容及び方法
先端芸術 表 現		<p>語学能力審査 日本語の母国語者……TOEFL又はTOEICの成績証明書 (平成21年1月20日以降に受験したもの。p.16参照) (注) 1. TOEFLは、PBT, iBTのいずれでも可。 Official Score Reportを、願書提出期間までに東京芸術大学美術学部宛に送付すること。 12-8, Ueno Kouen, Taito-ku, Tokyo 110-8714, Japan 2. TOEICの場合は、公式認定証を他の出願書類と共に提出すること。</p> <p>上記以外の者……日本語能力審査 2月10日(木) 10:00~11:30 <9:30集合/上野校地中央棟第3講義室></p>
	<p>1月11日(火)~ 1月18日(火) (必着) (「博士ポートフォリオ等在中」と封筒に朱書のうえ、書留で郵送すること。)</p> <p>提出先：先端芸術表現科 合同教員室 〒302-0001 取手市小文間5000 東京芸術大学取手校地</p>	<p>(1) 論文提出……修士論文のコピー及び要旨。 ただし、修士論文を課せられていない者は、これにかわる論文(20,000字程度)</p> <p>(2) ポートフォリオ提出 (注) 1. ポートフォリオの大きさはA3版以下とする。1冊のみ提出すること。実作品はポートフォリオとして認めない。 2. ポートフォリオのほかに、以下の参考資料を1種類だけ提出することができる。参考資料には、1点ごとに受験番号を明記すること。また、ディスクのおもて面には映像・音響のいずれかの資料であるかを朱書すること。 参考資料の提出及び返却方法は、ポートフォリオの提出及び返却方法に準ずる。 ①映像資料：DVD-R(データファイルを保存※1)で3分以内、1枚 ②音響資料：音楽CD形式(CD再生機器で再生ができること)3分以内、1枚 ③写真作品：25点以内。A3版以下1冊。 ④印刷資料(著書・論文(抜刷※2)・報告書(製本済のもの))：3点以内 ※1 解像度720×480のmov形式のデータファイルをDVD-R媒体に保存すること。(DVD再生形式での保存は不可) ※2 通常、学術論文は複数の執筆者が寄稿した論文を集めて1冊とするが、この中から特に志願者の論文だけを抜き出して読みやすい形にしたもの</p>
	<p>2月2日(水) 13:00~ 12時30分集合 取手校地メディア教育棟</p>	(4) 口述試問
	<p>2月10日(木) 10:00~11:30 9時30分集合 上野校地中央棟第3講義室</p>	<p>(3) 日本語能力審査 日本語を母国語としない者は日本語能力審査を受験する。 ※辞書持込可。ただし電子辞書は不可。</p>

研究領域	日	時	選抜試験内容及び方法	
美術学	1月4日(火)～7日(金) 必着 〔提出先：芸術学科事務室〕		(1) 論文提出……志望の研究分野(美学, 日本・東洋美術史, 西洋美術史, 工芸史)に関する修士論文のコピー。ただし修士論文を課せられていない者はこれにかわる志望研究分野の論文。 上記以外の論文がある場合, 参考論文としてこれを提出することができる。 (注) 平成23年3月本学修士課程修了見込の者で, 志望分野に変更がない場合, 論文の提出は不要である。 論文および要旨は同一のものを2部提出する。 ※論文には, 2000字程度の要旨を添えること。	
	2月15日(火) 〈9:30集合 中央棟 玄関ロビー〉	10:00～11:00		(2) 語学能力審査……英, 独, 仏, 伊語の中から1か国語選択。 (辞書は全員同じものを受験場で貸与する。)
		14:00～		(3) 口述試問
芸術学	1月14日(金) 10:00～15:00 〔提出先：美術教育研究室〕		(1) 論文提出……修士論文のコピー。ただし修士論文を課せられていない者はこれにかわる論文。 上記以外の論文がある場合, 参考論文としてこれを提出することができる。 (注) 平成23年3月本学修士課程修了見込の者で, 志望分野に変更がない場合, 論文の提出は不要である。	
	2月10日(木) 10:00～11:30 〈9:30集合/第3講義室〉		(2) 語学能力審査……日本語の母国語者は英語を受験する。 上記以外の者は日本語能力検査を受験する。 ※日本語・英語能力試験, 共に辞書持込可。ただし電子辞書は不可。	
	2月14日(月) 11:00～15:00 〔提出先：美術教育研究室〕		(3) 作品提出 実技作品2点以上。 映像資料の場合, 5分以内の作品とする。 (モニター・デッキ等は不要。他のメディアの場合は問い合わせること。) ※実技試験を課すこともある。	
	2月16日(水) 10:30～ 〈10:00集合/中央棟玄関ロビー〉		(4) 口述試問	
	1月24日(月) 10:00～16:00 〔提出先：美術解剖学研究室〕		(1) 論文提出……修士論文のコピー。ただし修士論文を課せられていない者はこれにかわる論文等。 上記以外の論文がある場合, 参考論文としてこれを提出することができる。 (注) 平成23年3月本学修士課程修了見込の者で, 志望分野に変更がない場合, 論文の提出は不要である。	
美術解剖学	2月10日(木) 〈9:30集合 中央棟玄関前〉	10:00～11:00	(2) 語学能力審査……英語 (辞書持込可。ただし電子辞書は不可。)	
		11:10～12:10	(3) 専門に関する筆答試験	
		14:00～	(4) 口述試問	

(注) 文化財保存学専攻の志願者は、願書提出前に、志望する研究室で、文化財保存学専攻の内容について説明を受けるのが望ましい。

保存修復日本画研究室…050-5525-2276

保存修復油画研究室…050-5525-2278

保存修復彫刻研究室…050-5525-2279

保存修復工芸研究室…050-5525-2281

保存修復建造物研究室…050-5525-2284

保存科学研究室…050-5525-2285

研究領域	日	時	選抜試験内容及び方法
文化財保存学 保存修復	2月10日(木) 10:00~11:30 〈9:30集合/第3講義室〉		(1) 語学能力審査……英語 (辞書持込可。ただし電子辞書は不可。)
	2月14日(月) 13:00~14:00 〔提出先:当日,学内に掲示する。〕		(2) 論文又は作品提出 ※提出論文には要旨を添付すること。 ※日本画・油画…修復又は制作した近作5点 彫刻・工芸 以内 ※建造物…(2)以外に2,000字程度の小論文(博士課程で研究しようとするテーマについて)
	2月15日(火) 9:00~ 〈集合時刻は2月14日に指示する/中央棟玄関ロビー〉		(3) 口述試問 ※専門に関する筆答試験又は実技試験を課すこともある。
文化財保存学 保存科学	2月3日(木) 必着(書留とすること) 〔提出先:志望する各分野の研究室〕		(1) 論文提出……修士論文のコピー及び要旨。 ただし修士論文を課せられていない者はこれにかわる論文。 上記以外の論文がある場合、参考論文としてこれを提出することができる。 (注) 本学修士課程修了者で、志望分野に変更がない場合、論文の提出は不要である。 (2) 小論文提出……2,000字以内(博士課程で研究しようとするテーマについて)
	2月10日(木) 〈9:30集合 中央棟玄関ロビー〉	10:00~12:00	(3) 語学能力審査……英語 (英和辞書1冊持込可。ただし電子辞書は不可。)
		13:00~14:00	(4) 専門に関する筆答試験
		15:00~	(5) 口述試問

TOEFL, TOEICの受験について

本領域を志願するたあたり、新たにTOEFLもしくはTOEICを受験する必要のある方（募集要項P.13参照）は、以下をお読みのうえ、各自申し込み等を行ってください。

■TOEFL受験の注意点

TOEFLのスコア到着までの目安は、通常テスト日から約1ヶ月後です。出願に間に合う様、公式webサイト等で情報を確認の上、早めにお申し込みください。

TOEFLに関する情報（TOEFLテスト日本事務局）：<http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html>

TOEFL公式Webサイト <http://www.ets.org/toefl/>

問い合わせ先（TOEFL全般）：

TOEFL iBTの一般的な案内

◎CIEE TOEFL事業部

電話：03-5467-5489 24時間音声ガイダンス

オペレーター：月～金（祝祭日を除く）10：30～16：30

テスト全般に関して

◎米国ETS Educational Testing Service

電話：1-609-771-7100（8：00～20：00 New York Time 土日祝休）

*夏季は営業時間が変わるため注意。

FAX：1-610-290-8972

Eメール：toefl@ets.org

■TOEIC受験の注意点

TOEICの公式認定証は、通常試験日から30日以内に受験者本人宛に発送されます。公式webサイト等で情報を確認の上、受験してください。早めにお申し込みください。

TOEIC公式webサイト：<http://www.toEIC.or.jp/>

問い合わせ先

(財)国際ビジネスコミュニケーション協会 東京業務センター

電話：	03-5521-6033（土・日・祝日を除く10：00～17：00）
ファックス：	03-3581-4783

10 選抜試験場

上野校地（東京都台東区上野公園12-8）

〔交通機関・J R—上野駅，鶯谷駅下車徒歩約10分〕
〔東京メトロ—千代田線根津駅下車徒歩約10分〕

取手校地（茨城県取手市小文間5000）

〔交通機関・J R取手駅東口から大利根交通バスで〕
〔約15分（東京芸大前下車）〕

※取手校地は先端芸術表現研究領域において実施。p.21参照。

11 最終合格者発表

平成23年2月19日（土）10時 美術学部構内（上野校地）の掲示板に受験番号を掲示します。

※本学ホームページ〔<http://www.geidai.ac.jp/index.html>〕でも合格者の受験番号等を掲載します。最終合格者発表日の学内掲示後（11時頃）に掲載する予定です。

合格者には、発表時当日に入学手続き書類を交付するので、**受験票を持参のうえ、必ず17時までに美術学部教務係に来ること。**やむを得ず当日来られない者は、代理人に委任すること。この場合は、受験票・委任状（形式任意）を持参すること。

【最終合格者発表における注意事項】

1. 電話などによる問合せには一切応じませんので、受験者本人若しくは代理人が必ず確認してください。なお、発表の際は、指定された場所以外に一切立ち入らないでください。
2. 発表開始前後は、本学ホームページにアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

12 入学手続

(1) 手続期間

平成23年3月14日（月）10時～12時，14時～17時及び3月15日（火）10時～12時，14時～17時
上記の入学手続期間内に入学手続をしない者は、入学を辞退したものと扱います。

(2) 場所

東京芸術大学美術学部 中央棟1F会議室（東京都台東区上野公園12-8）

(3) 納入金

ア. 入学料 282,000円〔予定額〕

〔平成23年3月本学大学院（修士課程）修了者及び国費外国人留学生は、納入不要〕

イ. 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）〔予定額〕

〔国費外国人留学生は、納入不要〕

（注）1. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

2. 授業料については、前期分又は年額（前期分及び後期分）のいずれかで納付することができる。

3. 前期分の授業料については、上記の期間に納入できない場合、保証人宛に送付する振込用紙により4月末日までの間に納入すること。
4. 入学手続終了者が平成23年3月31日までに入学辞退を申し出た場合は、納入した授業料相当額を返還する。ただし、入学料は返還しない。

※参考までに、入学者には上記納入金以外に次のような経費が必要となります。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 2,500円（3年分）
- ・ 厚生補導助成金 10,000円
- ・ 杜の会会費（同窓会費）40,000円

〔入会金及び10年分会費（他大学修了者及び本学修了の未納者）〕

※外国人留学生は会費免除とする。

- ・ その他

建築研究領域においては、教材費として、約80,000円を初年度に必要とする。納入については入学後、研究室からの指示によること。

13 入試情報の開示について

大学院美術研究科（博士後期課程）入学者選抜試験の個人成績を**受験者本人**の申し出に限って上野校地において開示します。

申込方法等は次のとおりです。

1. 申込方法

○受験者本人が来学する場合

募集要項巻末の「個人成績開示願及び通知書」の下線部すべてに受験者本人が記入のうえ、本学受験票（コピーは不可。ただし、本学入学者は学生証のコピー）、返信用封筒（長形3号 [12cm×23.5cm] 封筒に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、380円分の切手を貼付したもの）の3点を持参のうえ来学し、美術学部教務係で申し込んでください。（後日「簡易書留郵便」で送付します。）

○郵便で開示願いをする場合

居住地が遠隔地である等の理由で来学できない場合は、郵便での請求を受け付けます。募集要項巻末の「個人成績開示願及び通知書」の下線部すべてに受験者本人が記入のうえ、本学受験票（コピーは不可。ただし、本学入学者は学生証のコピー）、返信用封筒（長形3号封筒に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、380円分の切手を貼付したもの）の3点を東京芸術大学美術学部教務係宛に簡易書留で郵送してください。（後日、「簡易書留郵便」で送付します。）

2. 申込期間

○受験者本人が来学する場合

平成23年6月1日（水）～6月30日（木）

平日 午前9時30分～午後4時30分（昼休み時間を除く）

○郵便で開示願いをする場合

平成23年6月1日（水）～6月30日（木）の消印のみ受け付けます。

3. 開示内容

- (1) 当該年度（平成23年度）入学者選抜試験の個人成績のみを開示します。
 - (2) 個入成績を得点又は段階評価で開示します。
- なお、順位は開示しません。

14 平成24年度東京芸術大学大学院美術研究科入学者選抜における 個別学力検査等の変更について（予告）

平成24年度（翌年度）入試において、先端芸術表現研究領域については、入学志願者に課す個別学力検査等を以下のとおりに変更します。

○先端芸術表現研究領域

23年度（変更前）

個別学力検査等
科目名等
語学能力審査 日本語の母国者 <u>TOEFL</u> 又は <u>TOEIC</u> の成績証明書を願書と共に提出 平成21年1月20日以降に受験したもの。



24年度（変更後）

個別学力検査等
科目名等
語学能力審査 日本語の母国者 <u>TOEFL</u> の成績証明書を願書と共に提出 平成22年1月20日以降に受験したもの。

※TOEFLのみの提出となります。

15 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1. (1)～(5)の個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合

本学キャンパス

上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

[交通機関]

- (J R) 上野駅公園口、
鶯谷駅下車徒歩10分
- (東京メトロ) 銀座線、日比谷線
上野駅下車徒歩15分
千代田線
根津駅下車
徒歩15分

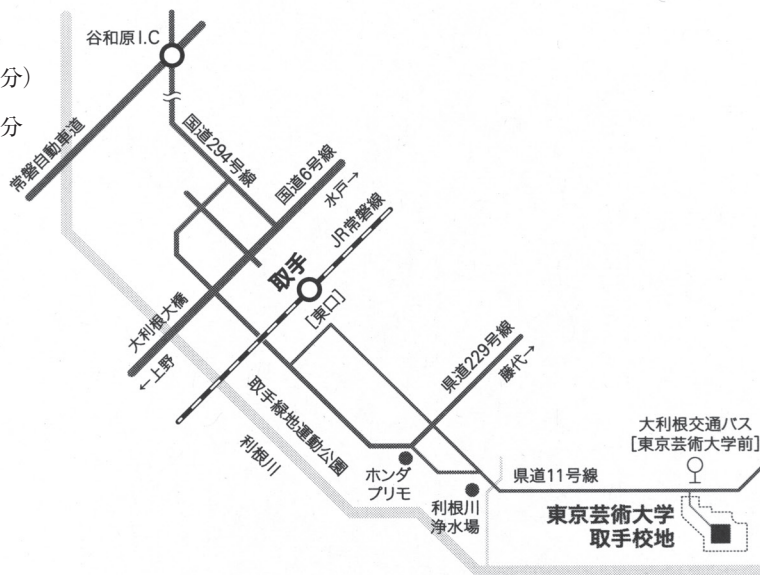


取手校地

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000

[交通機関]

- (J R) 取手駅 (上野駅から常磐線40分)
東口から大利根交通バス約15分
「東京芸大前」下車



《受験に関する問い合わせ先》

東京芸術大学美術学部教務係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電話 050(5525)2122

添付用

提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等にのり付けする等、表示すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 ※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) ※論文、小論文、ポートフォリオ等は記入しないこと	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 ※彫刻領域志願者のみ記入	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		

※日本画領域志願者は、この用紙のみ提出すること。(下半分の申告用紙は必要ない。)

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

両方記入すること

(切り取る)

申告用

提出作品・論文等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等には貼り付けず、募集要項で指定した受付(研究室又は美術学部教務係)に提出すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 ※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) ※論文、小論文等は記入しないこと	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 ※彫刻領域志願者のみ記入	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		
作品返却欄 ※提出時には、記入しないこと	上記の作品・小論文・論文について確かに返却を受けました。 月 日 署名		

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

添付用

提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等にのり付けする等、表示すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 <small>※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない</small>	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) <small>※論文、小論文、ポートフォリオ等は記入しないこと</small>	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 <small>※彫刻領域志願者のみ記入</small>	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		

※日本画領域志願者は、この用紙のみ提出すること。(下半分の申告用紙は必要ない。)

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

(切り取る)

申告用

提出作品・論文等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等には貼り付けず、募集要項で指定した受付(研究室又は美術学部教務係)に提出すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 <small>※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない</small>	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) <small>※論文、小論文等は記入しないこと</small>	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 <small>※彫刻領域志願者のみ記入</small>	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		
作品返却欄 <small>※提出時には、記入しないこと</small>	上記の作品・小論文・論文について確かに返却を受けました。 月 日 署名		

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

両方記入すること

添付用

提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等にのり付けする等、表示すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 ※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) ※論文、小論文、ポートフォリオ等は記入しないこと	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 ※彫刻領域志願者のみ記入	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		

※日本画領域志願者は、この用紙のみ提出すること。(下半分の申告用紙は必要ない。)

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

両方記入すること

(切り取る)

申告用

提出作品・論文等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等には貼り付けず、募集要項で指定した受付(研究室又は美術学部教務係)に提出すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 ※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) ※論文、小論文等は記入しないこと	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 ※彫刻領域志願者のみ記入	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		
作品返却欄 ※提出時には、記入しないこと	上記の作品・小論文・論文について確かに返却を受けました。 月 日 署名		

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

添付用

提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等にのり付けする等、表示すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 <small>※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない</small>	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) <small>※論文、小論文、ポートフォリオ等は記入しないこと</small>	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 <small>※彫刻領域志願者のみ記入</small>	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		

※日本画領域志願者は、この用紙のみ提出すること。(下半分の申告用紙は必要ない。)

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

(切り取る)

申告用

提出作品・論文等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等には貼り付けず、募集要項で指定した受付(研究室又は美術学部教務係)に提出すること。
 2. 提出する作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 指導教員の証明を得ることができない場合は、家族以外の第三者の証明を得ること。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学 () 大学大学院		研究科 専攻)
提出作品等 (赤○で囲む)	作品・小論文・論文 ポートフォリオ・参考資料 (映像・音響資料・スライドフィルム・印刷資料)	提出点数	全 点 ・ 冊
作品名 又は 題目等	(平成 年 月 日制作)		
証明欄 <small>※小論文は必要ない ※本学修士課程在学中の者は必要ない ※美学・美術史の論文には必要ない</small>	上記の作品・論文は、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
作品種別及びサイズ (赤○で囲む) <small>※論文、小論文等は記入しないこと</small>	絵画・彫刻 (石膏・木彫・石彫・金属・その他:) ・工芸 (彫・鍛・鋳・漆・陶・染・木・ガ) デザイン (パネル・模型・その他:) ・建築 (パネル・その他:) 美術教育 () ・保存修復 ()		
	サイズ 平面作品 (号・その他: タテ cm × ヨコ cm) 立体作品 (タテ cm × ヨコ cm × 高 cm ・重量約 kg)		
彫刻作品搬出方法 <small>※彫刻領域志願者のみ記入</small>	1. 本人 (本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人 (氏名 TEL)		
作品返却欄 <small>※提出時には、記入しないこと</small>	上記の作品・小論文・論文について確かに返却を受けました。 月 日 署名		

東京芸術大学大学院美術研究科

博士後期課程

両方記入すること

No.

平成23年度東京芸術大学大学院入学試験個人成績開示願

平成 年 月 日

東京芸術大学大学院美術研究科長 殿

私が受験した貴大学院の入学試験成績をお知らせ願います。

受験区分： 大学院美術研究科(博士後期課程)

研究領域・研究分野等： _____ 研究分野

受験番号： _____

氏 名： _____

住 所： 〒 _____

電話番号： _____ (_____) _____

- (注) 1. 募集要項18頁の入試情報の開示についてを参照のうえ、申し込んでください。
2. 返信用封筒（本人の住所・氏名を明記のうえ、簡易書留扱いとしますので、380円分の切手を貼った長形3号封筒 [12cm×23.5cm]）を提出してください。
3. この書類は、すべて自筆により記入してください。
4. 開示願の受付は、平成23年6月1日（水）～6月30日（木）の期間とします。
5. 開示願受理後、通知書送付については平成23年7月15日頃の一括発送とします。

----- 切 り 取 り 線 -----

No.

平成23年度東京芸術大学大学院入学試験個人成績通知書

平成 年 月 日

受験区分： 大学院美術研究科(博士後期課程)

研究領域・研究分野等： _____ 研究分野

受験番号： _____ 氏 名： _____ 殿

あなたから願い出のあった入学試験成績は、別紙のとおりです。

東京芸術大学大学院美術研究科